

# 「いざ、土橋城へ！」の巻

土橋城は栗山西岸の舌状台地上に築されました。今は畑になっていますが、当時の姿を思わせる地名が残っています。小字名「城」には天御中主命神社があり、千葉氏の氏神である妙見様が祀られています。ここは高台になっていて、物見台だったと思われます。「堀合」には箱葉研堀、大屋敷あたりにも堀が延びていました。

佐原へ続く街道（多古街道）と栗山川の水運という水陸交通の要衝だった土橋城は隣合う谷に位置する中世の大寺院、東禅寺への年貢米や物資の行き来を監視する役目も担っていたと考えられます。「船渡」という地名からも土橋城の眼下に重要な湊があったことが推測できます。南北朝時代に南朝方の千葉貞胤と北朝方千葉（千田）胤貞が従弟同士で争い「土橋合戦」が繰り広げられました。建武3年（1336）、12人が討ち死にし落城したと古文書に伝わります。さらに享徳の乱において、またも千葉一族は内部で分裂し、宗家の千葉胤直が多古へ逃げ込み、享徳4年（1455年）に自害。千葉宗家は多古で滅亡を遂げました。その際、土橋城も城郭として機能していたと思われ、東禅寺には千葉胤直の墓があります。発掘調査では多数の中世土坑、掘立柱建物、四面庇付き建物などの跡が確認されています。



土橋城からは貴重な遺物が見つかったよ！

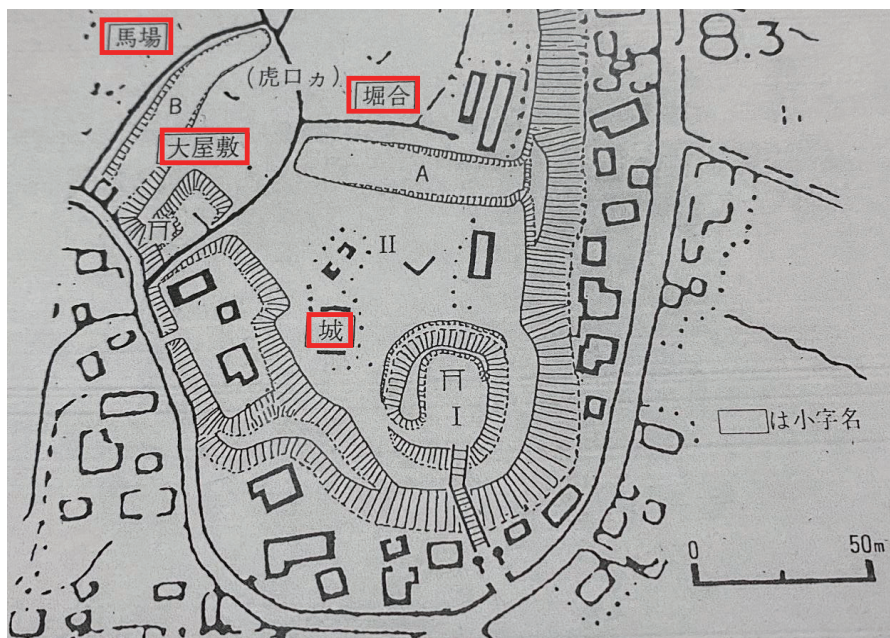
遺物は「たこらぼ」に展示されてます。

写真の遺物は骨臓器として使用されてたそう！

なんとほぼ完品！！  
常滑 甕（鎌倉時代）



中世初頭の古瀬戸！  
古瀬戸 灰釉四耳壺（鎌倉時代）



土橋城概念図(外山信司先生)

土橋城には城が  
あったことを偲ばせる  
地名がたくさん  
残ってます！！  
「馬場・大屋敷・城・  
堀合・御所落・御廊・  
屋敷添・亀井戸・船渡」  
などなど！  
周辺を歩いて想いを  
馳せてみてね！



## 土橋山東禅寺

真言律宗の寺院で、鎌倉幕府以来の名刹である金沢称名寺と縁が深い東禅寺は、中世には房総の中心的寺院でした。

境内には、多古城や志摩城の戦いで亡くなった千葉胤直らの墓と伝わる石塔が7基並んでおり、そのことから千葉氏宗家との深い関係性が見てとれますが、度重なる戦いで往時の姿は失われてしまいました。

遊びにきてね！

多古のアイドル  
ふっくらたまこちゃん



栗山川を眺めると  
当時が想像できます！



山城ガールむつみ